

第6期

相模原市中央区区民会議

活動報告書

(任期：令和2年7月30日から令和4年7月29日)



報告にあたって

第5期に続いて、第6期も会長を務めさせて頂きました。第5期に作成した中央区基本計画は、相模原市総合計画の一部となっているわけですが、第6期ではこの中央区基本計画を順調に着実に進めていくため、市役所、企業、団体へ提案や申し入れをしていく活動をしようとしていました。いわば「もの言う区民会議」です。

手法としては、今回もワークショップの手法を活用しました。さらに、分科会を作り、小グループでの検討を進めようとしていました。また、「もの言う」ためには、正しい状況認識とアイデアの創出が欠かせません。担当課からのヒアリングや、様々なステークホルダーからの意見徴収も重要です。

ところが、第6期の2年間は、まさにコロナ禍の真っ最中となってしまいました。我々の住む神奈川県や近隣の東京都には、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が次々と発令され、様々なイベント中止され、移動の自粛、経済活動の一時中止がなされ、大変な事態となってしまいました。飲食はもちろんのこと、集まって会議することもままならない状況でした。ICTを活用したテレビ会議やリモートワークもチャレンジしましたが、思うほどの効果が出ず、やはり沈静化するのを待つばかりとなってしまいました。

幸い、少し沈静化した時に、中央区基本計画に対して、重点的に取り組むべき部分の洗い出しや、そこへの意見やアイデア出しを行うことができました。また、一部については、相模原市役所の担当課からの状況説明とヒアリングを行いました。

第6期の成果となる本報告書は、こうした洗い出しと争点を明確にしたものと言えます。今後は、あれだけ猛威を振るったコロナ禍が少し安定化しそうです。感染の拡大は周期的に起こるかも知れませんが、対策や予防策もできるようになってきました。第7期では、これに基づき、市役所や各種団体、企業へ提言や申し入れを行い「もの言う区民会議」を実現して頂ければ幸いと感じております。

コロナ禍を機に、社会は、テレワークや新しい時代の働き方、新しいビジネス、新しい教育が生まれてきています。「多様性を大切に」して、ピンチをチャンスにする、相模原市中央区でありたいと思います。

最後に、委員はじめ、相模原市中央区役所区政策課、御協力頂いた皆様に、感謝して御礼申し上げます。

相模原市中央区区民会議 会長 飯島泰裕
(青山学院大学教授)

目 次

1 区民会議	・ ・ ・ ・ ・	1
2 これまでの取組	・ ・ ・ ・ ・	1
3 第6期の取組	・ ・ ・ ・ ・	2
(1) 中央区区民会議の重点行動について	・ ・ ・ ・ ・	2
(2) 中央区基本計画の概要	・ ・ ・ ・ ・	3
(3) 重点行動の決定	・ ・ ・ ・ ・	5
4 審議経過等（概要）	・ ・ ・ ・ ・	6
5 第6期区民会議委員名簿	・ ・ ・ ・ ・	7
参考	・ ・ ・ ・ ・	8
第5回会議資料（重点行動決定に係る資料）		

1 区民会議

区民会議は、区の課題やまちづくりの方向性について協議を行う場として設置する、市の執行機関の附属機関（※1）です。人数は25人以内とし、区内のまちづくり会議から推薦された方、区内の公益的活動を行う団体から推薦された方、区内の住民（公募により選任）、学識経験のある方から構成しています。

※1 附属機関

附属機関は法律や条例に基づき設置されるもので、市民や専門家の意見を反映させるため、審査や調査を行う機関のこと。

2 これまでの取組

第1期（平成22年7月30日から平成24年7月29日）

区の将来像や協働によるまちづくりの指針となる「区ビジョン」（※2）の策定について市長から諮問を受け、中央区の特色や現況、課題を踏まえ、区民と行政が共に目指す将来像や、まちづくりの目標を審議し、答申を行いました。

※2 区ビジョン

区民と協働でまちづくりを進めるための指針として、「新・相模原市総合計画」を地域の視点で捉え直し、区が目指す将来像を明らかにしたうえで、その実現に向けて区民と行政がともに進めるまちづくりの基本的な方向性を示したものの。

第2期（平成24年7月30日から平成26年7月29日）

第2期では、区ビジョンに定めた「地域資源を生かし、魅力ある中央区を創出する」という基本方針に焦点を当て、中央区らしい魅力として、区内の地域資源を再発見するとともに、それらを「つなぐ」取組について議論し、中央区らしい魅力を創造する提案をとりまとめました。

第3期（平成26年7月30日から平成28年7月29日）

第3期では、より幅広く区民と意見交換を行う「中央区拡大区民会議」を開催し、「区民や地域の連携・協力による魅力あるまちづくりに向けて」、「若い世代の地域活動、まちづくりへの参加について」をテーマに、区内の高校生・大学生・子育て世代の区民が参加し、区民が主体となり地域資源を「つなぐ」ために必要な方策や、若い世代の地域参加について議論し、報告書としてまとめました。

第4期（平成28年7月30日から平成30年7月29日）

第4期では、令和2年度から計画期間が始まる中央区基本計画の策定に向け、区ビジョンに掲げた行政の取組の実施状況の確認と区民の取組について検証し、報告書としてまとめました。

第5期（平成30年7月30日から令和2年7月29日）

第5期では、中央区基本計画の策定についての諮問を受け、中央区の現状と課題を踏まえつつ、将来のポテンシャルと「多様性」という特色を活かした中央区の目指す姿を実現するための取組について議論を重ね、最終的に計画の答申としてとりまとめました。

3 第6期の取組

（任期：令和2年7月30日から令和4年7月29日）

（1）中央区区民会議の重点行動について

中央区基本計画に掲げた目指す姿・取組目標を実現するため、「発言する区民会議」として取組主体への働きかけ（＝重点行動）を行うこととしました。

中央区基本計画では、中央区の目指す姿・取組目標の実現に向けて33の重点的な取組を定めていますが、限られた期間内で、全てに取り組むことは困難であることから、優先順位をつけて先行して着手していくため、第2回、第3回会議で、中央区の課題や区民ニーズ、重要性、時間を要するものなどから判断して、早期に着手をしてくべき6つの取組を選択しました。

選択した重点的な取組への重点行動の検討に際しては、より深い議論をするため、小委員会を置き、3つのグループに分かれ、1グループで2つの重点的な取組を担当し、現状の取組みなどを確認し、グループワーク形式で、具体的な取組・取組主体を出し合い、考えられる重点行動について検討を重ねました。

第4回、第5回会議では、小委員会ごとに検討し優先順位を付けた重点行動の中から重点的な取組に資するものを決定するために議論を重ねました。

(2) 中央区基本計画の概要（目指す姿・取組目標）

中央区の目指す姿



目指す姿・取組目標Ⅰ 健やかに育ち、共に学び、共に高め合っている

- 取組の方向Ⅰ-1 子どもが伸び伸びと成長できるよう取り組みます【子育て・教育】
(重点的な取組)
 - ◆子育て支援 ◆子どもの健全な育成環境の充実 ◆教育環境の充実
- 取組の方向Ⅰ-2 誰もが学びを楽しめるよう取り組みます【生涯学習・社会教育】
(重点的な取組)
 - ◆生涯学習、社会教育の支援

目指す姿・取組目標Ⅱ 自分らしく、いきいきと暮らしている

- 取組の方向Ⅱ-1 全ての人がいきいきと暮らせるよう取り組みます【福祉、高齢者、貧困】
(重点的な取組)
 - ◆地域ネットワークの充実 ◆高齢者の社会参加支援
- 取組の方向Ⅱ-2 多様な人々が自分らしく活躍できるよう取り組みます【人権・男女、障害者、国際化】
(重点的な取組)
 - ◆人権の尊重と男女共同参画社会の実現 ◆バリアフリー環境の充実
 - ◆多文化共生の推進 (※取組の方向Ⅳ-3再掲)
- 取組の方向Ⅱ-3 健康長寿に取り組みます【健康、医療】
(重点的な取組)
 - ◆健康増進活動の推進 ◆安心できる医療体制の充実

目指す姿・取組目標Ⅲ 安全・安心をみんなで創っている

- 取組の方向Ⅲ-1 一人ひとりが災害に備えるよう取り組みます【防災】
(重点的な取組)
 - ◆地域防災力の向上
- 取組の方向Ⅲ-2 事故や犯罪ゼロを目標に取り組みます【交通安全、防犯、空き家】
(重点的な取組)
 - ◆交通事故防止対策の推進 ◆犯罪の未然防止 ◆空き家の適正な対策

目指す姿・取組目標Ⅳ 魅力と活力にあふれ、にぎわっている

- 取組の方向Ⅳ－１ 人が集い、にぎわいがあふれるよう取り組みます【商業、観光、農業】
(重点的な取組)
 - ◆商業振興によるにぎわいづくり ◆観光資源などを活用した魅力の発信
 - ◆農業を身近に感じられるまちづくり
- 取組の方向Ⅳ－２ 暮らしやすさが未来へつながるよう取り組みます【基地返還、拠点形成、道路、交通】
(重点的な取組)
 - ◆相模総合補給廠の早期返還 ◆相模原駅周辺地区におけるにぎわいの拠点づくり
 - ◆道路環境の向上 ◆地域公共交通網の構築
- 取組の方向Ⅳ－３ 誰もが桜やJAXA、大学など地域の魅力を語れるよう取り組みます【文化、スポーツ、国際化】
(重点的な取組)
 - ◆文化が薫り、誇りを持てるまちづくり ◆スポーツを楽しめる環境づくり
 - ◆多文化共生の推進 (※取組の方向Ⅱ－２再掲)

目指す姿・取組目標Ⅴ 豊かな環境をつくり、次世代へつないでいる

- 取組の方向Ⅴ－１ 生物多様性を保全し、都市の自然がつながるよう取り組みます【環境保全、都市緑化、生物多様性】
(重点的な取組)
 - ◆都市の自然を次世代につなげるまちづくり ◆生物多様性に配慮したまちづくり
- 取組の方向Ⅴ－２ 環境に配慮したライフスタイルへの転換に取り組みます【地球温暖化・廃棄物】
(重点的な取組)
 - ◆環境に対する意識の向上 ◆資源循環型の社会の推進

目指す姿・取組目標Ⅵ わたしも、あなたも、誰もが輝いている

- 取組の方向Ⅵ－１ 全ての区民が連携・協働できるよう取り組みます【参加・協働、区政】(分権)】
(重点的な取組)
 - ◆多様な人々によるまちづくり ◆区役所の果たすべき役割の強化
- 取組の方向Ⅵ－２ 新しい発想を活かし、持続可能なまちづくりに取り組みます【行政サービス、広聴広報、公共施設マネジメント】
(重点的な取組)
 - ◆住民サービスの向上 ◆区民意見の聴取と情報発信
 - ◆公共施設を最適な状態で維持管理していくための検討

(3) 重点行動の決定

具体的な取組内容・取組主体の検討、区民会議としての働きかけは第7期に引き継ぎますが、6つの重点的な取組に対する重点行動を決定しました。

目指す姿・取組目標Ⅰ 健やかに育ち、共に学び、共に高め合っている

■取組の方向Ⅰ-1 子どもが伸び伸びと成長できるよう取り組みます

【子育て・教育】

重点的な取組：「子育て支援」

重点行動：子どもに学習の場を提供する【協働】

重点的な取組：「子どもの健全な育成環境の充実」

重点行動：学習・相談ボランティアの養成講座や仕組みづくりを行う【協働】

目指す姿・取組目標Ⅱ 自分らしく、いきいきと暮らしている

■取組の方向Ⅱ-1 全ての人がいきいきと暮らせるよう取り組みます

【福祉、高齢者、貧困】

重点的な取組：「地域ネットワークの充実」

重点行動：広報の在り方を検討する。全戸配布だと費用がかかるので、区民全体に情報が届くような方法を考える。【協働】

目指す姿・取組目標Ⅳ 魅力と活力にあふれ、にぎわっている

■取組の方向Ⅳ-2 暮らしやすさが未来へつながるよう取り組みます

【基地返還、拠点形成、道路、交通】

重点的な取組：「相模原駅周辺地区におけるにぎわいの拠点づくり」

重点的な取組：「地域公共交通網の構築」

重点行動：買物支援に対する実験的取組の検討と実施（実施・相乗り・買物配達など）【協働】

目指す姿・取組目標Ⅴ 豊かな環境をつくり、次世代へつないでいる

■取組の方向Ⅴ-1 生物多様性を保全し、都市の自然がつながるよう取り組みます

【環境保全、都市緑化、生物多様性】

重点的な取組：「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」

重点行動：温暖化防止の講座や環境を守る暮らし方講座などをNPO法人等と連携して地域で開催する【協働】

4 審議経過等（概要）

開催日・回次等	主な内容
令和2年8月25日 第1回（通算54回）	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長の選出 ・中央区基本計画について
令和2年12月9日 第2回（通算55回）	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区区民会議の重点行動について ・中央区基本計画の周知について
令和3年3月29日 第3回（通算56回）	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区区民会議重点行動の検討について
小委員会 グループ1 令和3年6月24日 令和3年7月15日	中央区区民会議重点行動について <ul style="list-style-type: none"> ・重点的な取組①「子育て支援」 ・重点的な取組②「子どもの健全な育成環境の充実」
グループ2 令和3年6月29日 令和3年7月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・重点的な取組①「相模原駅周辺地区におけるにぎわいの拠点づくり」 ・重点的な取組②「地域公共交通網の充実」
グループ3 令和3年6月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・重点的な取組①「地域ネットワークの充実」 ・重点的な取組②「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」
令和4年3月28日 第4回（通算57回）	【書面開催】 <ul style="list-style-type: none"> ・中央区区民会議重点行動の検討について
令和4年5月25日 第5回（通算58回）	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区区民会議重点行動の検討について
令和4年7月28日 第6回（通算59回）	<ul style="list-style-type: none"> ・第6期相模原市中央区区民会議 活動報告書（案）について

5. 第6期区民会議委員名簿

分野	選出母体等	氏名	備考
まちづくり会議	小山地区まちづくり会議	安藤 孝洋	
	清新地区まちづくり会議	田代 明寛	第1回～第3回
		丹波 晴道	第4回～
	横山地区まちづくり会議	末 永 暁子	
	中央地区まちづくり会議	牛尾 良一	第1回～第4回
		鈴木 泰信	第5回～
	星が丘地区まちづくり会議	竹田 幹夫	副会長
	光が丘地区まちづくり会議	割 柏 秀規	
	大野北地区まちづくり会議	山口 信郎	
	田名地区まちづくり会議	志村 勝美	第1回～第4回
代田 修		第5回～	
上溝地区まちづくり会議	小林 充明		
公益的活動団体	相模原市立小中学校PTA連絡協議会	大塚 悦子	
	相模原市私立保育園・認定こども園園長会	清水 洋子	
	相模原市公民館連絡協議会	永 富 多美子	第1回～第3回
		小川 紳夫	第4回～
	相模原市地区社会福祉協議会中央区連絡会	坂本 洋三	
	相模原市民生委員児童委員協議会	飯塚 芳雄	
	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら	加賀谷 育子	
	一般社団法人相模原市医師会	原田 克也	
	相模原交通安全協会	田所 豊	
	公益社団法人相模原市観光協会	浦上 裕史	
	相模原商工会議所	中村 太郎	
	公益社団法人相模原青年会議所	神田 隆吾	
特定非営利活動法人さがみはら環境活動ネットワーク会議	斎藤 奈美		
学識経験者	青山学院大学	飯島 泰裕	会長
区内の住民	公募委員	池田 眞弓	第1回～第4回
	公募委員	近藤 万莉	
	公募委員	猿 渡 達明	

参考

第5回会議資料 (重点行動決定に係る資料)

中央区区民会議重点行動の検討について

中央区基本計画に掲げた目指す姿・取組目標を実現するため、計画の実現に資する重点行動を第6期で決定し、「発言する区民会議」として取組主体への働きかけを第7期で行うもの

テーマ別重点行動

グループ1

①「子育て支援」

塾に通えない子どもに学習の場を提供する【協働】

②「子どもの健全な育成環境の充実」

学習・相談ボランティアの養成講座や仕組みづくりを行う【協働】

グループ2

③「相模原駅周辺地区におけるにぎわいの拠点づくり」

④「地域公共交通網の構築」

買物支援に対する実験的取組の検討と実施(実施・相乗り・買物配達など)【協働】

グループ3

⑤「地域ネットワークの充実」

広報のあり方を検討する。全戸配布だと費用がかかるので、区民全体に情報が届くような方法を考える。【協働】

⑥「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」

温暖化防止の講座や環境を守る暮らし方講座などをNPO法人と連携して地域で開催する。【協働】

第7期

・ 中央区内全体で取り組むことができる
・ 区民会議の第7期(2年間)で取り組むことができる

具体的な取組主体・取組内容の検討

働きかけを実施

各グループの取組主体・取組内容

◆グループ1

重点的な取組：①「子育て支援」

重点行動：塾に通えない子どもに学習の場を提供する【協働】

【取組主体】 自治会、公民館、地域ボランティア、子ども会、区民、子ども食堂、学校、シルバー人材センター
【取組内容】 学校や公民館を使用して、民間やボランティアの方などに学習支援を働きかける。
【その他意見】 <ul style="list-style-type: none">・放課後教室をやっているところとやっていないところがあるので、すべての学校でやったほうがよいのではないかと思います。また、公民館等でも行い、拡大していったほうがよいと思う。・資格を持っているお母さんたちを活用できるのではないかと思います。・星が丘地区では大学生等が小学生の学習のお手伝いを行っているが、いろいろな場所で行ったほうがよいのではないかと思います。・塾に通えない子の支援も必要だが、学校の勉強についていけない子や学校に通えない子がいることを聞いたので、そういう子の支援が必要ではないか。また、学校の中で悩みを聞く制度が他市であるので取り入れたらよいのではないかと思います。・PTAを通じて資格を持っている方などに声を掛けられるのではないかと思います。・行政：青葉小など閉校後の利用、放課後教室の利用（横断的発想）、講座諸経費の補助金創設 社協：講師募集、運営に関する事・②の「学習・相談ボランティアの養成講座や仕組みづくりを行う」ことで、①の「塾に通えない子どもに学習の場を提供する」ためのボランティアを養成することができるなど、繋がっていて、実現する必要性を感じました。・「民生委員・児童委員」のうち、児童や妊産婦の福祉に関することに特化して支援活動を行う「主任児童委員」が市内・各地区に配置されております。協働として活動出来ます。

重点的な取組：②「子どもの健全な育成環境の充実」

重点行動：学習・相談ボランティアの養成講座や仕組みづくりを行う【協働】

【取組主体】 学習・相談ボランティア、人材バンク、PTA、社協、公民館
【取組内容】 公民館で学習・相談ボランティアの養成講座を実施するとともに、資格、特技を持った

人たちの人材バンクを各公民館区に作成し、公民館や地域の事業に優先的に活用していく。

【その他意見】

- ・人材を育てる仕組みを地域で作ったほうがよいと思う。
- ・人材を育成・確保するうえでは仕組みづくりは必要ではないかと思う。
- ・②の「学習・相談ボランティアの養成講座や仕組みづくりを行う」ことで、①の「塾に通えない子どもに学習の場を提供する」ためのボランティアを養成することができるなど、繋がっていて、実現する必要性を感じました。
- ・資格、特技をもった人たちの人材バンクを各公民館区に作成し、公民館や地域の事業に優先的に採用する。

各グループの取組主体・取組内容

◆グループ2

重点的な取組：③「相模原駅周辺地区におけるにぎわいの拠点づくり」

④「地域公共交通網の構築」

重点行動：買物支援に対する実験的取組の検討と実施（実施・相乗り・買物配達など）【協働】

【取組主体】 民間事業者
【取組内容】 民間事業者に移動スーパーのエリア拡大を働きかけるとともに、おうちコープ等の買物支援メニューを取りまとめて地域へ周知する。
【その他】 <ul style="list-style-type: none">・移動手段という分類の「買物支援」は、横山地区でも実施しているが、実施まで3年程度かかった。ただ、買物に対する不便を解消することは時間がかかっても必要だと思う。・移動手段の支援が必要で、それが買物支援に繋がると思う。・買物支援をするためには移動手段が必要だと思うので、コミュニティバスや乗合タクシーがあったほうがよいと思う。・移動支援と買物については、確かにイオンのような移動スーパーやコープなどの割引もよいではないか。・買物支援について、おうちコープを利用してもらうのも良いのではないかと思います。私自身、最近おうちコープのことを初めて詳しく知り、とても便利だと思いました。子育て世代向けのイメージが強いですが、お年寄りにも良いと思いました。・地域によっては実施している所もたくさんあるので、ノウハウを学んで、まだない地域で真似していくことで、その地域に合った形に進化していくのではないか。・福祉有償運行を利用する。

各グループの取組主体・取組内容

◆グループ3

重点的な取組：⑤「地域ネットワークの充実」

重点行動：広報のあり方を検討する。全戸配布だと費用がかかるので、区民全体に情報が届くような方法を考える。【協働】

【取組主体】 有償ボランティア、自治会、市、学校、シルバー人材センター
【取組内容】
【その他】 <ul style="list-style-type: none">・各情報が自治会員しか届かないので、未加入者にもどうしたら伝えられるかが課題である。・市の広報は新聞をとっていない世帯が多く、市の広報などからの情報が届かないため、広報全戸配布のあり方を検討して情報を伝える必要があるのではないかと。・新聞をとっている世帯は少なく情報発信ができないため、上溝地区の一部では、子育てや高齢者の情報を便りとして有償ボランティアが配布している。・広報の情報はすべての人が必要としていない。今の人は必要な部分のみが欲しい。・市の情報が届かないので広報の配布方法を検討する必要があるのではないかと。・広報のあり方を検討する。全戸配布だと費用がかかるので、区民全体に情報が届くような方法を考える。・各地域・自治会での取組や情報を自治会の掲示板などを利用してお互い共有する。・FMさがみで中央区の番組があるので、役立つ情報を提供したり、回数を増やしたりはできないのか。・広報の対象の年齢を考える。若者世代は、今はLINEが主体で、クーポンでもつければ開く頻度はあがる。・地域ネットワークの充実については、全戸配布は確かに費用がかかるので、代替方法を早急に考える必要がある。・広報のあり方の検討について、ターゲットを大まかな世代ごとに分け、考えるのが良いと思いました。例えば、子育て世代は学校での配布、若者はTwitterなどのSNSでの発信、お年寄りには公民館などでの配布が思いつきました。

重点的な取組：⑥「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」

重点行動：温暖化防止の講座や環境を守る暮らし方講座などをNPO法人と連携して地域で開催する。【協働】

【取組主体】 NPO法人、ボランティア団体
【取組内容】 温暖化防止の講座や環境を守る暮らし方講座などをNPO法人と連携して地域で開催する。
【その他】 <ul style="list-style-type: none">・中央区は新たな緑地を増やすことは不可能なので、今ある自然環境を残すことを考えなければならない。・自然を守るためには温暖化防止を進めなければならない、行政で進めることも必要だが、個人でもできることがあるので、講座や啓発を行ったほうがよいのではないか。・鳩川、道保川は草の手入れがされていないため、堆積物が多くなり洪水など災害につながる不安がある。道保川ではザリガニなどの外来種が増えて蜚が減ってきている。・地域の生態系に合わせた植物を広げることの大切さや、庭や公園に植える植物も在来種を植えていくことの大切さが必要。

第4回中央区区民会議（書面会議）集計結果

各グループにおける具体的な取組内容（順位付け）		意見集計結果		
		賛成	未回答	その他
グループ 1	Ⅰ 健やかに育ち、共に学び、共に高め合っている Ⅰ-1 子どもが伸び伸びと成長できるよう取り組みます			
	●子育て支援			
	1位：塾に通えない子どもに学習の場を提供する【協働】 取組主体：自治会、公民館、地域ボランティア、子ども会、 区民、子ども食堂、学校、シルバー人材センター	13	3	2
	2位：母親でいろいろな資格を取得している人への支援を行う【協働】 取組主体：地域の人材バンク、各公民館に登録、各自治会、 子ども会、学習・相談ボランティア、 シルバー人材センター、PTA			
	3位：子育てに優しい社会にする（授乳室を充実させるなど）【協働】 取組主体：自治会、公民館、民生委員児童委員、児童館、区民			
	4位：地域の児童館などを利用した子育てに関する相談窓口を 設置する【協働】 取組主体：児童館、社会福祉協議会、民生委員児童委員、公民館			
	5位：子育て世代の相談窓口の設置する【協働】 取組主体：児童館、社会福祉協議会、公民館			
	●子どもの健全な育成環境の充実			
	1位：学習・相談ボランティアの養成講座や仕組みづくりを 行う【協働】 取組主体：学習・相談ボランティア、人材バンク、PTA	13	3	2
	2位：不登校児童の相談窓口設置や通学等の相談窓口を 周知する【協働】 取組主体：自治会、地域、行政、民生委員			
3位：子育て世代の居場所づくりや大人と子どもがふれあえる場を 提供する【協働】 取組主体：公民館、児童館、地域と自治体の支援				
4位：公園等で禁止されている遊び方を解消して自由な遊びが できるようにする【協働】 取組主体：行政、地域のボランティア、地域の理解				
5位：発達障害の子どもへの理解を深める説明会などを 開催する【協働】 取組主体：地域				

第4回中央区区民会議（書面会議）集計結果

各グループにおける具体的な取組内容（順位付け）		意見集計結果		
		賛成	未回答	その他
グ ル ー プ 2	IV 魅力と活力にあふれ、にぎわっている			
	IV-2 暮らしやすさが未来へつながるよう取り組みます ●相模原駅周辺地区におけるにぎわいの拠点づくり ●地域公共交通網の構築 1位：買物支援に対する実験的取組の検討と実施 （実施・相乗り・買物配達など）【協働】 2位：田名地区をはじめとする現在バス路線がない地区に コミュニティバスを導入する【協働】 3位：交通不便地区に乗合いタクシーをより普及し、 住民に周知する【行政】 4位：ベンチをはじめとした休憩スペースを駅周辺に 配置する【行政】 5位：電動レンタル自転車をバスターミナルに配置して、 田名・上溝・相模原においてスマホで使える方式の 実験を検討する。【協働】	12	5	1

第4回中央区区民会議（書面会議）集計結果

各グループにおける具体的な取組内容（順位付け）		意見集計結果		
		賛成	未回答	その他
グループ 3	II 自分らしく、いきいきと暮らしている II-1 全ての人がいきいきと暮らせるよう取り組みます ●地域ネットワークの充実	14	3	1
	1位：広報のあり方を検討する。全戸配布だと費用がかかるので、 区民全体に情報が届くような方法を考える。【協働】 2位：各地域・自治会での取組や情報を自治会の掲示板などを 利用してお互い共有する。【協働】 3位：FMさがみで中央区の番組があるので、役立つ情報を 提供したり、回数を増やしたりできないかを検討する。 【協働】			
グループ 3	V 豊かな環境をつくり、次世代へつないでいる V-1 生物多様性を保全し、都市の自然がつながるよう取り組みます ●都市の自然を次世代につなげるまちづくり	14	3	1
	1位：温暖化防止の講座や環境を守る暮らし方講座などを NPO法人と連携して地域で開催する。【協働】 2位：庭や公園に植える花や木の在来種リストを作成して 情報発信を行う。【協働】 3位：補給廠の跡地に木を植樹して緑地を増やす。【行政】 4位：街路樹を守るために電柱を地中化する。 （一か所だけでも）【行政】			

第6期
相模原市中央区区民会議 活動報告書

発行 令和4年7月
相模原市中央区区民会議
編集 相模原市中央区役所区政策課
相模原市中央区中央2-11-15
電話 042-769-9802